

公共交通利用状況について

目次

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績 1~3
2 高校生通学ライナーバス利用実績 4
3 井栗地区コミュニティバス利用実績 5
4 まとめ 6

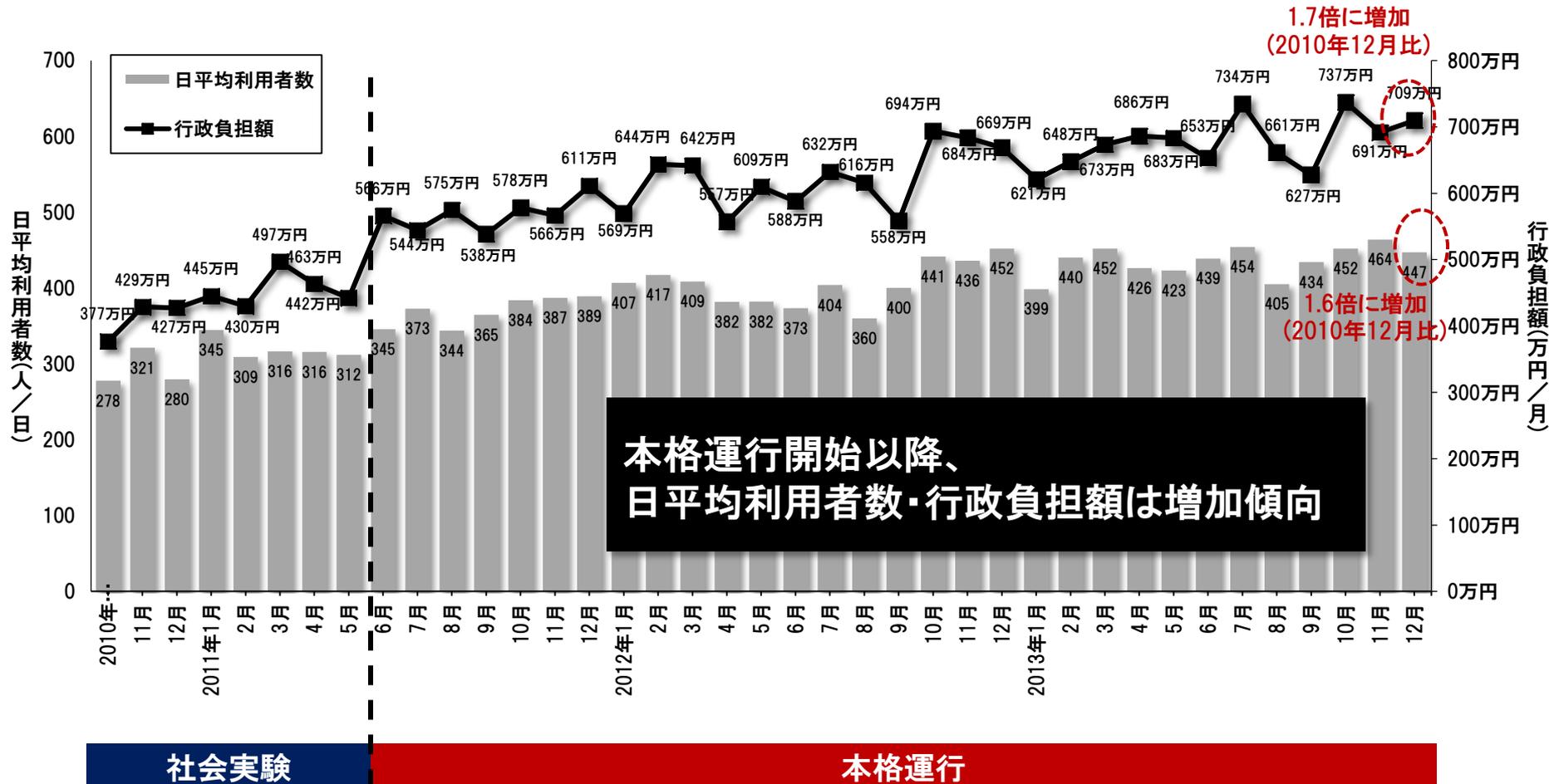
平成26年2月19日(水)

三条市地域公共交通協議会

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績

利用者数と行政負担額の推移

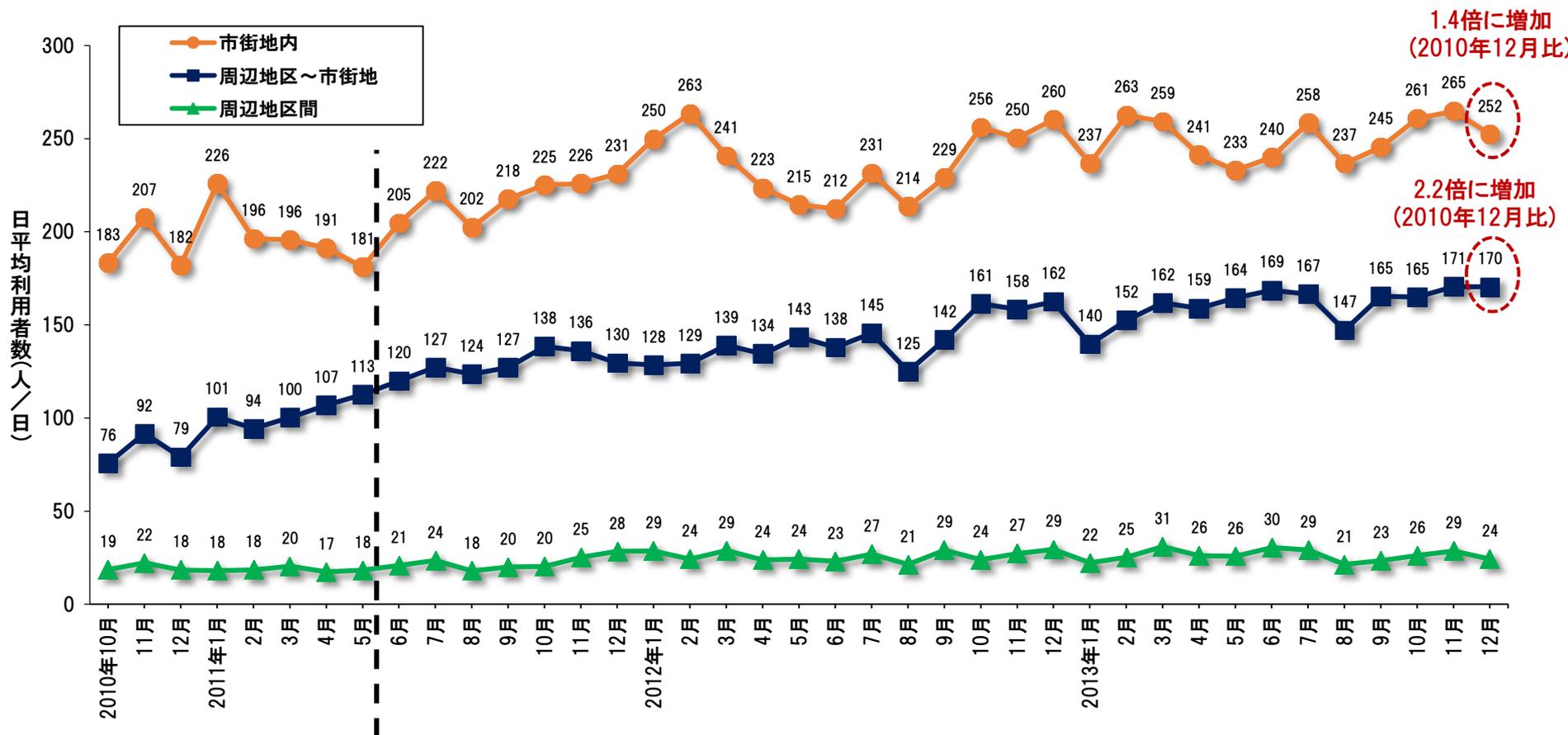
- 日平均利用者数と行政負担額の増加率は、ほぼ同じ。
- 運賃見直し直前のH25年12月の利用者数は447人/日、行政負担額709万円/月となり、H22年12月に比べて利用者数1.6倍、行政負担額1.7倍である。



1 デマンド交通ひめさゆり利用実績

起点終点別の利用者数

- 周辺地区～市街地間での利用が大幅に増加(H22年12月比2.2倍)
- 周辺地区間での利用は概ね30人未満の利用で横ばいに推移



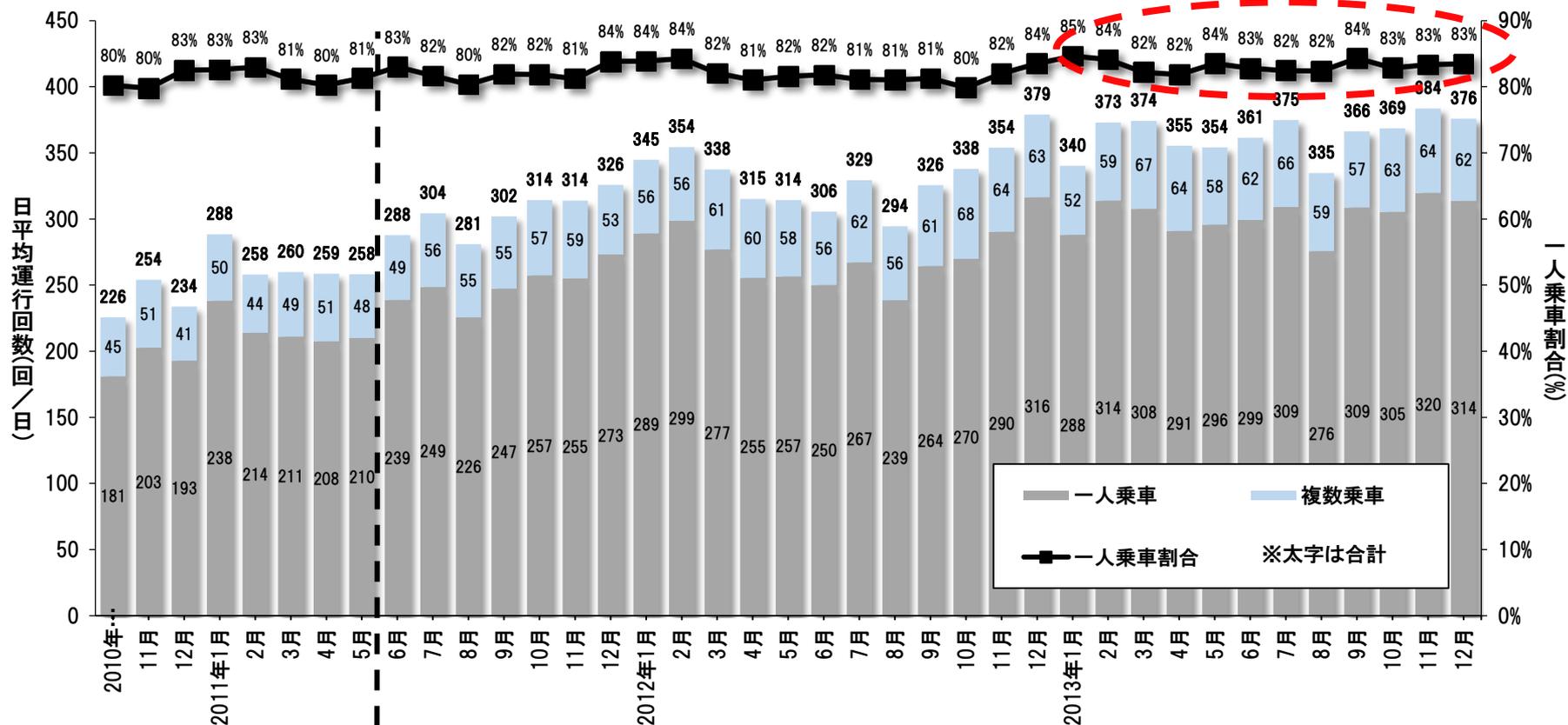
社会実験

本格運行

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績

一人乗車の推移

●利用者数の増加に伴い一人乗車の日平均運行回数も増加するとともに、一人乗車割合は80%以上で推移を続け、依然として高い状況にある。



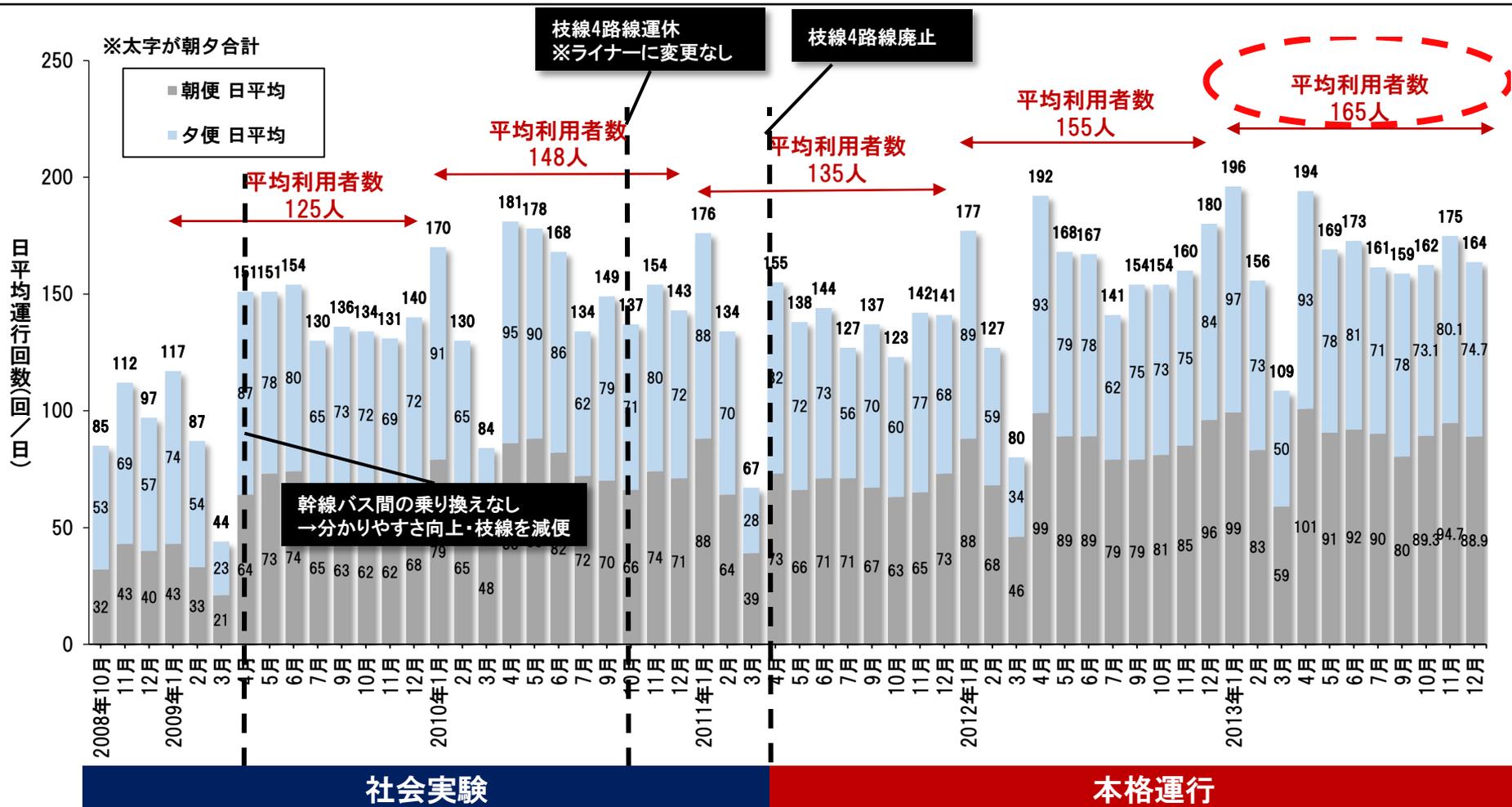
社会実験

本格運行

2 高校生通学ライナーバス利用実績

利用者数の推移(八木ヶ鼻温泉～県央工業高校)

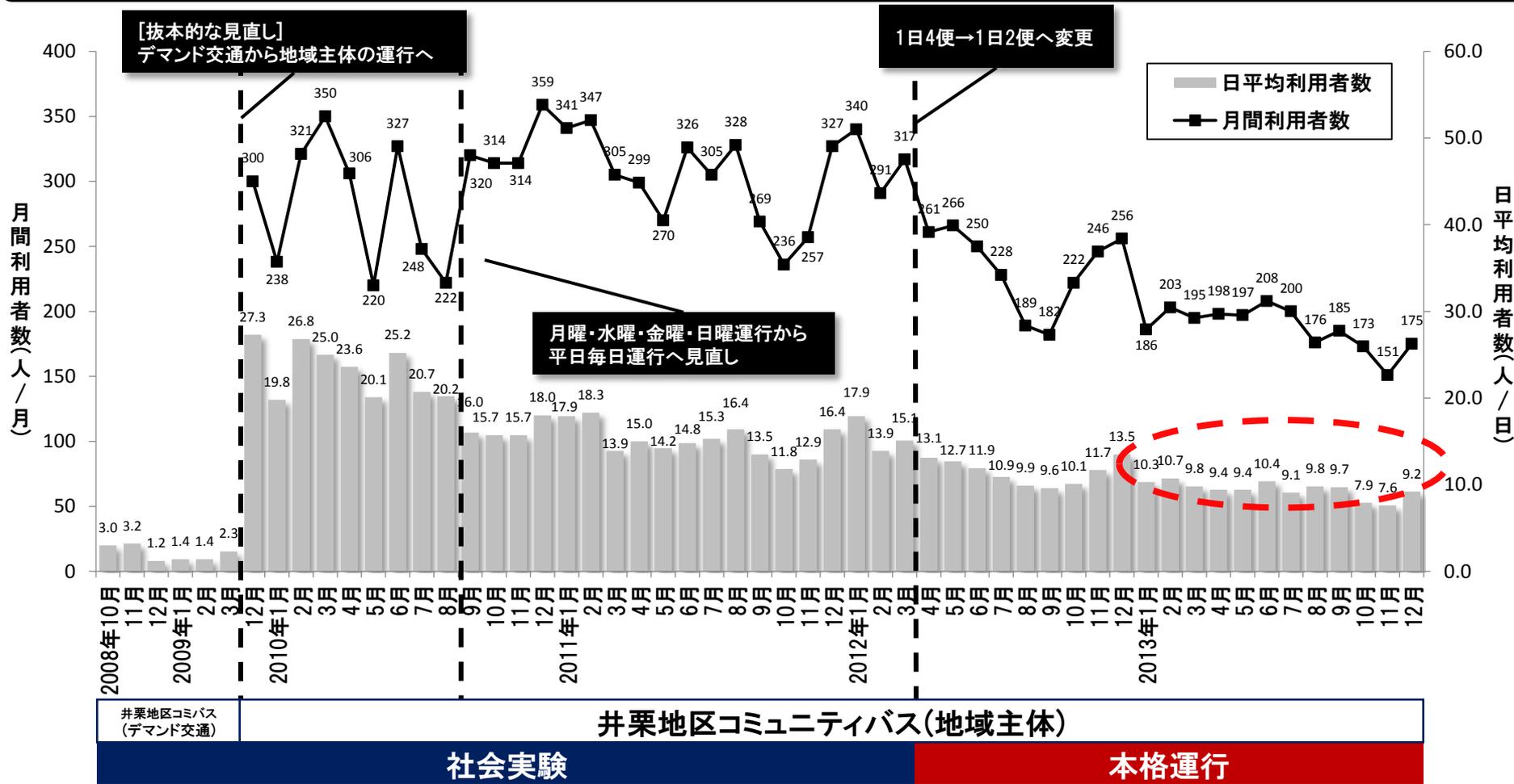
●1月～12月の日平均利用者数は165人と増加傾向にある。



3 井栗地区コミュニティバス利用実績

利用者数の推移

●月変動はあるものの利用者数は減少傾向にあり、H25年の日平均利用者数は10人未満となった。



※井栗地区コミュニティバス利用実績に基づき集計

4 まとめ

ひめさゆり

- ・H25年1月から12月までの日平均利用者数は442人で安定している。
- ・市街地～周辺地区間での利用が大幅に増加しており、デマンド交通が全市的に浸透している傾向が伺える。
- ・運賃見直し後の利用者数の動向を注視する必要がある。

高校生通学ライナー

- ・H25年1月から12月までの日平均利用者数は165人であり、やや増加傾向にあるなど高校生通学ライナーバスは利用者に定着してきていることが伺える。

井栗地区コミュニティバス

- ・月変動は大きいものの、H25年1月から12月までの日平均利用者数は概ね10人未満で推移している。
- ・利用者数は減少傾向にあるため、今後原因を分析した上で対応を検討していく必要がある。